

組合だより

【 第286号 平成30年4月 日本羊腸輸入組合 】

平成30年3月の主な活動報告

1. 理事会・委員会関係

○3月20日 平成29年度第4回理事会

理事6名、監事1名が出席し本部会議室に於いて開催されました。

主な議題のうち、組織・財政委員会の最終報告（答申）の取扱いについては、答申内容を受入れ、第55回通常総会の提出議案に反映させることとしました。また、平成30年度予算案については、更なる事業コストの見直し・削減を図るべきとし、再度、次回理事会で審議することとしました。

○3月は、委員会の開催はありませんでした。

2. 組合員向け情報提供（統計情報を除く）

○3月27日付けでトルコの加工保管施設1施設が認定されました。また、同日付けでモンゴルの加工保管施設リストが更新されました。更新の内容は、3施設の住所表記が変更されたものです。

詳細情報は、会員ページを御確認ください。

○組織・財政委員会の最終報告書を会員ページに掲載しましたので、御覧ください。

○「食品、添加物等の規格基準の一部改正」について、会員ページを通じお知らせしました。

○「障害者雇用促進の法定雇用率変更等」について、会員ページを通じお知らせしました。

○「外為法に基づく資産凍結措置」について、一般ページに関連情報を掲載しております。

3. その他

○農林水産省国際衛生対策室を訪問し、今後の加工保管施設の現地調査について意見交換を行いました。内容について、この紙面に掲載することは不適切ですので、ご関心のある方は事務局にお問い合わせください。

○組合員から、これまで天然腸輸入実績のない国からの輸入可能性についての問い合わせがあり、BSE対策の見直しの状況や口蹄疫の清浄国か否かを踏まえ、事務局としての見解をお答えしました。

統計情報

*統計の詳細は組合ホームページを御確認下さい。

【財務省貿易統計】

平成30年2月の天然ケーシング輸入量は、次のとおりです。

- ・総輸入量 450.1 t (前月比+126.5 t、+39.1%/前年同月比+146.1 t、+48.0%)
- ・中国原産 324.1 t (// +125.3 t、+63.1%/ // +110.0 t、+51.4%)
- ・豪州原産 61.1 t (// △ 14.4 t、△19.1%/ // + 14.7 t、+31.7%)
- ・NZ原産 64.4 t (// + 15.1 t、+30.7%/ // + 22.7 t、+54.7%)

【組合報告統計】

平成30年2月の天然ケーシング輸入量は、次のとおりです。

- ・報告数量 合計：1, 217, 137ハクス
(羊腸：1, 198, 337ハクス、豚腸：18, 800ハクス)

【ソーセージ生産量 (出典：日本ハム・ソーセージ工業協同組合)】

平成30年1月のソーセージ生産量は、次のとおりです。

- ・ソーセージ類合計生産量 : 23,096.0トン (対前年同月比:+3.2%)
- ・ウィンナーソーセージ : 17,967.5トン (// :+3.5%)
- ・フランクフルトソーセージ : 2,199.7トン (// :△3.7%)

今後の主な予定

- 4月13日 (金) 会計監査
- 4月19日 (木) 平成29年度第5回理事会
- 5月29日 (火) 第55回通常総会/平成30年度第1回理事会、懇親会

事務局から

- 3月末日をもって、「株式会社モリオ」様が退会されました。平成16年1月に加入され、約14年間に亘り当組合活動に御理解・御協力をいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

以上